

青函圏から全道へと広がるさまざまな魅力、発見＆再発見。



ご当地グルメ探訪
地元のごちそう

じゃがいも生まれのうどん
豪雪うどん（俱知安町）



俱知安町名産のじゃがいもの
でん粉で作られた、
雪のように美しいうどん。

家庭料理から生まれた
北海道のご当地うどん

羊蹄山麓の俱知安町は、全国的に
も屈指の豪雪地帯であり、肥沃な土壤と羊蹄の湧水から生まれた絶品じゃがいもの一大産地としても知られています。そんな土地で昔から農家の家庭料理として食べられていた、じゃがいものでん粉を原料にしてつくった「でん粉うどん」を、地元の老舗ホテル「ホテル第一会館」が商品化したのが「豪雪うどん」



です。じゃがいものでん粉と小麦粉などの配合を調整し、時間がたっても美味しく食べられるように改良されたものです。

小麦粉のうどんとは
ひと味違う独特の風味

豪雪地帯で生まれ、雪のように白く透き通ったうどんというこそで名づけられた「豪雪うどん」。その特徴は、モチモチした食感と、光沢のある白色の麺にあります。美しい透明感、のどごしの良さ、驚くほどコシの強さ……小麦粉で作る通常のうどんとはまったく違う独特的の美味しさで、俱知安のお土産の定番としても人気の逸品。羊蹄山麓を訪れた際に、ぜひ味わってみてはいかがでしょうか。



歴史と文化の温故知新
ふるきをたずねて

数多の優駿を育ててきた
日高の馬文化（日高地方）



馬にとって快適な気候と馬と生きる人々の努力が、日高を日本一の馬産地にした。

全国の競走馬の8割を占める
優駿のふるさと・日高地方

日高山脈の麓、太平洋を望む雄大なパノラマに牧場が広がる美しい風景。日高地方は「優駿のふるさと」と呼ばれるほど競走馬の生産が盛んです。2013年の統計によると、日高地方の牧場は794戸で、7,367頭の繁殖牝馬から5,423頭の仔馬が生まれており、これは全国の競走馬の8割を占めています。また、牧場だけではなく育成施設やセリ市場など、日高には馬に関わる施設が集積しています。明治期からサラブレッドを育ててきた歴史のある土地日高は北海道の中では温暖で雪も少ないため、昔から馬が育



てられてきました。明治期にはサラブレッドが輸入され、浦河町の「日高種馬牧場」では主に軍馬を生産していました。戦後に競走馬の需要が増え、日高は一気に馬産地になったのです。日高町の「門別競馬場」では、日高の馬づくりを支えるホッカイドウ競馬が開催されています。また、牧場見学される際には、窓口の「競走馬のふるさと日高案内所」に必ずお問い合わせください。



道内各地の取り組みを紹介
オール北海道

北海道新幹線
しりべし協働会議



北海道新幹線の開業効果を波及・拡大させるためにオール後志で推進。

一丸となって後志地域を盛り上げていきたい

北海道新幹線開業という絶好の機会をとらえ、開業効果を後志管内に広く波及・拡大させ、かつ持続性あるものとするために、地域内全20市町村や議会、商工会議所などが集まって2014年5月21日に発足した官民連携組織が「北海道新幹線しりべし協働会議」です。東北地方をはじめ、北関東地域や首都圏との連携・交流により、観光や産業など様々な分野で後志の活性化を目指します。

東北との交流を深める
PRキャラバン隊を派遣

具体的な取組としては、北海道新幹線開業効果について考える

各種シンポジウムや、二次交通アクセス網の充実・強化を検討する会議などの開催のほか、後志総合振興局庁舎ロビーに「よろていカラマツ」を使用した木製カウントダウンボードを設置して気運醸成を図っています。また、2015年2月2日から5日にかけて東北へPRキャラバン隊を派遣し、福島県・郡山駅、岩手県・盛岡駅、青森県・観光物産館アスパムで北海道新幹線の開業及び後志地域のPRを行いました。



青函圏の新商品開発
握手をしよう

日糧製パン
「北海道牛乳クリームロール」「青森りんごジャムロール」



北海道と青森を繋ぐ新幹線のように長い青函コラボパンが登場。

北海道の製パン会社による
新幹線開業応援商品

北海道生まれの企業として、「おいしく、北海道らしく。」のコンセプトのもと、多彩な商品を発売し続けている日糧製パン株式会社から、北海道新幹線開業を応援する新商品が発売されました。青森県と北海道が一致協力して開業を盛り上げられるよう、青函エアリに開連する素材を使用してつられた、北海道新幹線をイメージした長いロールパン。パッケージには北海道新幹線H5系のイラストや、北海道新幹線開業PRロゴマークとキャッチフレーズ、「どこでもユキちゃん」がデザインされています。これからも注目です。